



Photo : Satoshi MITSUTA

タレガ
「アルハンブラの
思い出」

ロドリゴ
「アランフェス
協奏曲」

リムスキー=コルサコフ
「シェエラザード」ほか

※曲目は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

指揮 : 小林研一郎
ギター : 村治佳織
管弦楽 : 読売日本交響楽団

アランフェス協奏曲

小林研一郎

with

村治佳織

読売日本交響楽団



Photo : 浦野俊之



Photo : Kiyotaka Saito

2010 **12.5**日 なかのZERO大ホール 14:00開演(13:30開場)

全席指定 **SS席** 6,000円 (ホールメイト会員5,800円) **S席** 5,200円 (ホールメイト会員5,000円) **A席** 3,800円 (会員割引なし)

※未就学児童はご入場いただけません。

前売開始

一般発売日 7月26日(月) 10:00~
ホールメイト会員優先日 7月25日(日) 10:00~
中野区民優先日 7月25日(日) 13:00~

※優先日は、いずれもなかのZEROチケットセンター、なかのZEROオンラインチケットでの予約受付のみ。
※ご予約・ご購入後のキャンセルは致しかねますのでご了承ください。
※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

チケット取り扱い なかのZEROチケットセンター 03-3382-9990
なかのZEROオンラインチケット <http://nicesacademia.jp/>

○チケットぴあ(一般発売日以降) 0570-02-9999[Pコード:109-617]
○ローソンチケット(一般発売日以降) 0570-084-003[Lコード:37987]

○イープラス(一般発売日以降) <http://eplus.jp/>
○JTBエンタメチケット(一般発売日以降) <http://www.jtb.co.jp/ticket/>

小林研一郎 with 村治佳織 アランフェス協奏曲 読売日本交響楽団

小林研一郎(指揮) Ken-ichiro Kobayashi, Conductor

東京藝術大学作曲科、指揮科の両科を卒業。1974年第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。数多くの音楽祭に出演の他、国内外の多くのオーケストラのポジションを歴任。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章(民間人としては最高の勲章)を授与される。現在、アーネム・フィル常任指揮者、ハンガリー国立フィル、名古屋フィル桂冠指揮者、マタフ・ハンガリー交響楽団、九響の首席客演、東京芸術大学名誉教授、東京音楽大学客員教授。

オクタヴィアレコード、ボニーキャニオンの両社から数多くのCDが発売されている他、著書にエッセイ集「指揮者のひとりごと」。また、日蘭交流400周年記念に委嘱され「パッサカリヤ」を作曲。アムステルダムにて初演され、満員の聴衆の熱狂的スタンディング・オベーションで迎えられた。

2002年「プラハの春音楽祭」オープニングコンサートに、東洋人として初めてチェコ・フィルを指揮して登場、2004年11月にはチェコ・フィル日本公演、2005年6月にはマリンスキー・ヤング・フィル、2006年5月には日本フィルのヨーロッパ公演(創立50周年記念)や6月のハンガリー国立フィルを率いて日本公演、2007年2-3月には初来日のアーネム・フィルを率いての日本公演を指揮し好評を博した。国内外のオーケストラへの客演も数多く、現在最も活躍し注目されている指揮者である。



Photo: Satoshi MITSUTA

村治佳織(ギター) Kaori Muraji, Guitar

東京都出身。福田進一に師事。1989年、ジュニア・ギターコンクールにおいて最優秀賞を受賞。1991年、学生ギターコンクールにおいて、全部門通じての最優秀賞を受賞。1992年ブローウェル国際ギターコンクール(東京)及び東京国際ギターコンクールで優勝を果たす。1993年、津田ホールにてリサイタルデビュー、続いてCD「エスプレッシーヴォ」をリリース。1995年、第5回出光音楽賞を受賞。1996年、村松賞受賞。1997年よりバリのエコール・ノルマルに留学、アルベルト・ボンセに師事。1999年、ホアキン・ロドリゴの前で彼の作品を演奏する機会を得る。同年、エコール・ノルマル卒業と同時に帰国、本格的なソロ活動を開始する。年間50回を超える全国各地でのソロ・リサイタルに加え、海外でも公演を重ねている。また、国内外の主要オーケストラとも多数共演。

これまでに、ビクターエンタテインメントよりCD9枚、DVD1枚をリリース。1998年に発売された「カヴァティーナ」はクラシック音楽CDとしては異例の売上げを記録。2003年には、英国名門クラシックレーベルDECCAと日本人としては初の国際的な長期専属契約を結び、第1弾「トランスフォーメーション」は、「レコード芸術」にて特選として最高の評価を得るとともに、第19回日本ゴールドディスク大賞クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー<洋楽>を受賞。その後も、CD5枚、DVD2枚が発売されている。2009年10月7日にはDECCA第6弾となる「ポートレイト」がリリースされた。

1999年、伊藤園・充実野菜、2002~2004年、トヨタ自動車・アリオンのテレビCMに出演。2007年にはミキモトのイメージキャラクターとして起用されるなど、メディアへの登場も多い。J-WAVE(FM)「三菱地所 CLASSY CAFE」マンスリー・ナビゲーターを務めるほか、雑誌でのエッセイ連載や、新聞へ書評を寄稿するなど、幅広い分野で活躍している。2008年、第9回ホテルオークラ音楽賞を受賞。



Photo: Kiyotaka Saito

村治佳織 公式サイト <http://www.musicachiara.com/dulcinea/>

読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo

読売日本交響楽団は1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビの読売グループ3社を母体に設立された。設立当初より世界的指揮者が常任指揮者を歴任し、現在は現代フランスを代表する鬼才シルヴァン・カンブルランが常任指揮者(第9代、2010年4月就任)を務め、正指揮者の下野竜也(初代、2006年11月就任)とともに大きな注目を集めている。

現在、サントリーホールでの年間11回の定期演奏会を軸に、名曲シリーズ(サントリーホール)、東京芸術劇場名曲シリーズ、東京芸術劇場マチネーシリーズ、みなとみらいホリデー名曲コンサート・シリーズ(横浜みなとみらいホール)の5シリーズを揃え、最先端のプログラムから親しみやすい名曲まで、充実した内容で聴衆を魅了している。また、2007年度より東京芸術劇場と提携し、同劇場主催のシアターオペラやファミリーコンサートなどに度々出演、好評を博している。

なお、定期演奏会などの様子は日本テレビ「読売Symphonic Live~深夜の音楽会」で放送されているほか、インターネットの「第2日本テレビ」でも動画配信され、好評を得ている。

読売日本交響楽団 公式サイト <http://yomikyoku.or.jp/>



Photo: 浦野俊之

